

りゅうおう 議会だより

No.155
2011. 5. 1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



頑張れ！期待される青年団

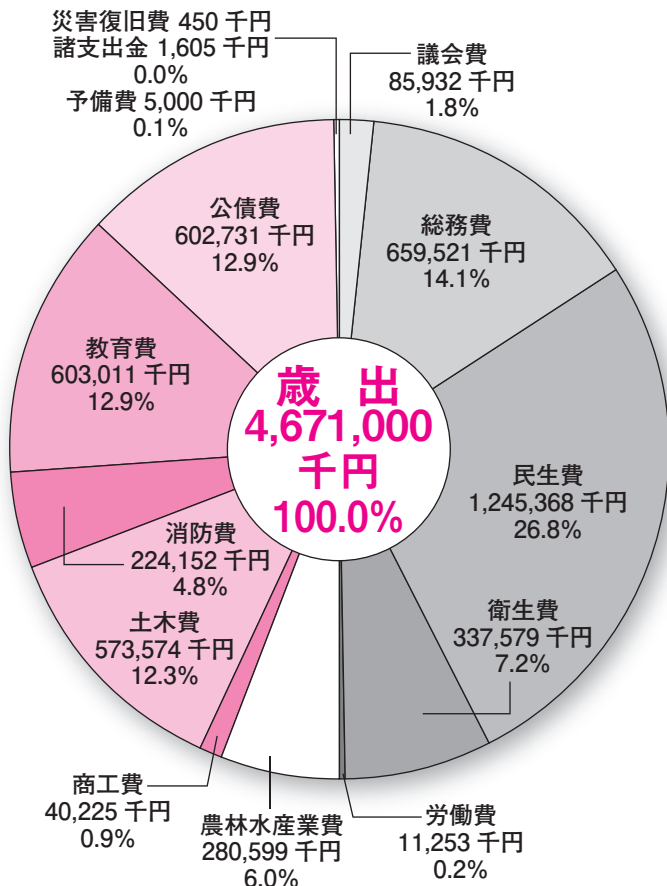
財政健全化に向けた緊縮型予算	2~3
第五次総合計画基本構想を審議	5
議会基本条例（案）の策定	6
一般質問 9議員が17問	8~13
東日本大震災 被災地支援 救援活動と意見書	14



妹背の里は花見客でいっぱいです

た緊縮型予算

00万円の内訳●



平成23年度の一般会計と、特別会計・公営企業会計合わせた予算総額は、76億996万1千円。一般会計は、46億7,100万円で、前年度比1.5%、

7,100万円の減額となりました。これは前年並みの財源が確保できないことに加えて、引き続き財政健全化に向けた緊縮型の予算であるためです。

歳入の主なものは、町税27億9,532万円、国からの国庫支出金4億1,409万7千円と県からの県支出金3億4,202万3千円です。

町税が前年より9,940万円減

平成23年第1回定例会は、3月3日から24日までの22日間の会期で開かれました。提出された議案は、条例関係16件、平成22年度補正予算関係7件、平成23年度予算関係8件、請願1件、意見書1件でした。(条例改正は4頁に関連記事があります。)

平成22年度一般会計補正予算は、1億8,750万円増額し、53億1,765万8千円になりました。

平成23年度予算は、一般会計については予算第1特別委員会、特別会計については、予算第2特別委員会を設置し集中審査を行いました。

平成23年度竜王町の予算

(▲は減 単位：千円、%)

会 計 名		平成23年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	前年度比較	
				増減額	増減率
一 般 会 計		4,671,000	4,742,000	▲71,000	▲1.5
特別会計・企業会計	国民健康保険事業(事業勘定)	1,014,000	949,000	65,000	6.8
	国民健康保険事業(施設勘定)				
	医 科	87,000	91,000	▲4,000	▲4.4
	歯 科	49,200	54,000	▲4,800	▲8.9
	老人保健医療事業	(廃止)	300		
	学 校 給 食 事 業	59,000	64,000	▲5,000	▲7.8
	下 水 道 事 業	634,000	649,000	▲15,000	▲2.3
	介 護 保 険	614,700	567,000	47,700	8.4
	後 期 高 齢 者 医 療	71,000	77,000	▲6,000	▲7.8
	水 道 事 業				
	3 条	323,816	320,000	3,816	1.2
	4 条	86,245	142,500	▲56,255	▲39.5
計		2,938,961	2,913,800	25,161	0.9
総 額		7,609,961	7,655,800	▲45,839	▲0.6



財政健全化に向け

●一般会計46億7,100千円

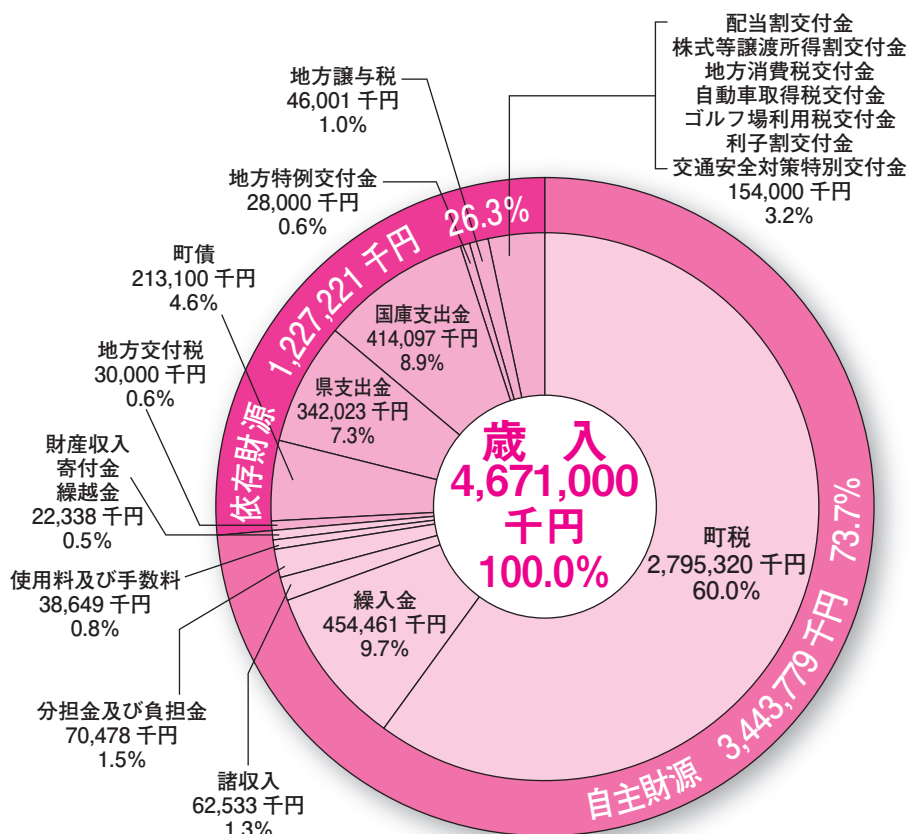
歳出の主なものは、公債費や福祉関係経費など義務的経費等であり、町の財政基盤強化のため前年度に引き続き緊縮型予算ですが、第五次竜王町総合計画の人口増加に向けた政策については重点配分されました。

本会議では、町提出の全議

案が可決され、「所得税法第56条を廃止し家族従業者の働き分を必要経費として認める意見書」の提出を求める請願書は不採択となり、「東北太平洋沖地震における被災地への救援活動および支援体制の整備等を求める意見書」(14頁に関連記事)は可決されました。

竜王小学校改修・設計に着手

公債費は約6億200万円、民生費が約12億4,500万円、教育費が竜王小学校大規模改修工事設計業務を含め、約6億300万円などです。



条例が制定されました

産業振興のため 交付金が出ます

町民の雇用機会を拡大し、町の経済発展に資するため、「竜王町産業振興にかかる特別措置に関する条例」を制定するものです。

新たに事業を展開するための設備投資など、産業振興を促進するための、一定の施設整備に対して奨励金が交付されます。

3年間、固定資産税相当分（上限1億円）を交付するものです。

工場や商業施設その他農業施設に対して一定の条件を満たせば交付されます。

公共施設の維持管理に 基金を積み立てます

町の建物に対して修繕、維持補修費用の財源を確保するため「竜王町公共施設維持管理基金条例」を制定。

対象となる公共施設は、

総合庁舎・防災センター・農村女性の家・勤労福祉会館・コミュニティ消防センター・竜王南部地区防災センター・運動公園・農村環境改善センター・農林公園・地域産業研修センター・田園資料館・農村文化の郷・シルバークプラザ・雪野山史跡広場（妹背の里）・農村広場・ドラゴンスポーツジムです

条例が改正されました

母子・父子への 年金に所得制限が

母子福祉年金・父子福祉年金は、母子・父子家庭の児童の健全な育成および福祉の増進を目的に町単独事業として行っている事業ですが、財政健全化に向けて、今後も持続的に支援を行う

心身障害児の 年金に所得制限が

心身障害児福祉年金は、心身障害児の健全な育成お

ため、所得制限を設け真に支援が必要な方に支援が行えるよう、条例の一部を改正されます。



町の公共施設

よび福祉の増進を目的に町単独事業として行っている事業ですが、財政健全化に向けて、今後も持続的に支援を行うために、所得制限を設け真に支援が必要な方に支援が行えるよう、条例の一部を改正されます。

福祉医療費助成に所得 制限と年齢制限が

福祉医療費助成制度において、障がいのある方と母子・父子家庭の方については、所得制限を設けるとともに母子・父子家庭の子の対象年齢を22歳から18歳に引き下げられます。

また、障がいのある方を対象とした事業については、重度障がいの方は老齢福祉年金や、遺族年金の所得制限額と同様に県制度の所得制限額を適用し、軽度障がいの方は、本人のほか、配偶者および扶養義務者の方がそれぞれ町民税非課税である場合を制度の対象とします。

財政健全化の取組み

平成23年度実施の財政健全化プラン、財源試算（平成21年度との比較）、竜王町における財政健全化に向けた取組経過報告および今後の方針、財政シミュレーション、竜王町の財政の将来見通し等の資料の提示があり、説明を受けました。

主な質疑応答

問

住民は「竜王町の財政は本当に苦しいのか」と言っている。町外では竜王の財政が良いように言っているのではないのか。

答

行財政改革は引き続き実行していきます。これまで通り行財政が全てサービスを行うことは出来ませんので、今後は町民皆さんの一部負担もお願いすることになります。

問

財政の将来見通しによると、財政調整基金等（平成21年度末残高で約12億7,900万円）はあと2、3年で底をつくとのことであるが、歳入確保の方法を考えるとともに、経費削減も図る必要があるのではないのか。

答

竜王町は歳入の把握が難しく、毎年予算編成のときには大変苦労しています。平成22年度3月補正では税収の回復が見込めましたが、それを全て使うことはできません。



鏡での財政説明会

町の標準財政規模は40億円から43億円程度とみえます。

第五次総合計画

「第五次竜王町総合計画 基本構想」を審議

執行部より基本構想と基本計画について説明を受け、議論しました。

主な質疑応答

問 総合計画の推進に向けた予算は考えているのか

答 平成23年度では定住人口増への対策と地域の活力を高めることを目的に特別枠として1,000万円の予算の確保を考えています。

問 中心核での住宅施策が必要ではないのか。

答 市街化調整区域での住宅整備は難しいところがあり、現市街化区域に位置づけられている地域での整備を考えています。

問 インターチェンジ周辺の16haの開発はどのように取り組むのか。

答 岡屋県有地と合わせて、インターチェンジ周辺16haについては、市街化編入を進めているので民間活力も含め開発等の検討を進めていきます。

問 職住接近による人口増加の具休策はあるのか。

答 ダイハツ周辺・小口インターチェンジ周辺・鏡工業団地周辺に集合住宅の環境整備を考えています。



インター付近の航空写真

能力開発ができるような研修計画が必要ではないか。

答 合併市町に比べると専門性の格差は出ています。人事については3年から5年のローテーションを行っていますが、庁内からも専門性を高めないといけないとの声が出ています。

研修は計画的に行っていますが、専門的研修は自主性が低いので、研修した人への評価できる制度を本格的に導入していきます。県との人事派遣交流等の継続実施をすることで、職員的能力アップを図っていきます。

主な意見

※定住に向けた優遇措置を設ける必要があるのではないかと。

※同居の大切さを推奨することも大切ではないかと。

※町外から来てもらうことも大切であるが、町内の人が引き続き住んでもらうことも必要である。

※安心健康づくりについて、

問

町職員の異動サイクルが早く専門性を持った職員が少ない。年数と能力の基準を明確にしないといけない。

答

合併市町に比べると専門性の格差は出ています。人事については3年から5年のローテーションを行っていますが、庁内からも専門性を高めないといけないとの声が出ています。

「第五次総合計画における 基本計画の取組み」

総合計画では医療機関との連携等とあるが、町民自らが健康づくりをしてもらえるよう考える必要がある。

※中小企業単独でやっている支援を記述すべきではないか。

※小さくても同じ志を持った人のグループがたくさんできることが町の活力・魅力になる。

総合計画における基本計画の取組みについての計画の評価・検証と進捗管理までについて計画内容の説明を受けました。

主な質疑応答

問 都市計画マスタープランは、総合計画策定に当たり、見直しをするのか。また見直しは何年単位にするのか。

答 プランの大きな狙いは、市街化区域の編入です。若者定住策などのまちづ

問 ハードの計画と今後の収入をどのように考えているのか。

答 ハード面については、今後10年間は防災行政無線や、学校大規模改修事業に取り組めます。また、県有地、小口地先の土地に新たに企業誘致を図っていきます。

議会基本条例 制定特別委員会報告

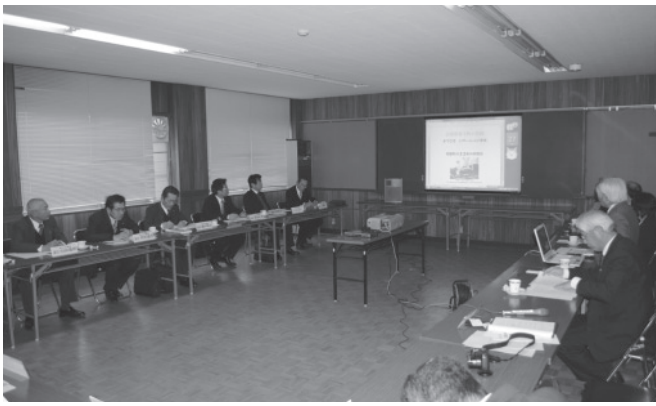
審議の経過と結果報告

1月27日には京都府精華町と奈良県の平群町で研修をしました。

1月13日議会基本条例の制定について各議員の意見の取りまとめとフリー討議を行い、今後の基本条例制定に向けての意見集約をしました。

研修内容は、①議会基本条例制定の取り組み経過について②住民との対話を通じた条例制定について③精華町での特徴的な取り組みについて④反問権について⑤議会報告会の内容についてを柱に研修をしました。

平群町での研修



特に、精華町では、平成20年4月に「議会基本条例検討会」を発足して審議を行い、平成21年3月に議会基本条例を可決されましたが施行日を平成22年1月とし、9ヶ月の検討を行った

との説明がありました。

議会運営は委員会を中心とした議会活動が活発に行われていて、インターネットによる本会議の配信や音声と言語に変える議事録の作成など新たな電子機器を使った情報公開に取り組まれています。

続いて、奈良県平群町で研修を行いました。

研修内容は、①議会基本条例の取り組み経過について②議会活性化の活動についてです。

特に、平群町議会では、議会運営委員会が基本条例制定に大きく関わり、奈良県の町村で第1番目の平成22年3月に制定されました。また、議会運営委員会を中心に議会活動をされているのが特徴的でした。

2月2日は精華町および平群町の研修会について意見や感想を出し合い、今後の進め方や方向について討

議しました。

また議会基本条例案を6月定例会に提出すること、提案までに住民の意見を聴くため説明会を開催することを決めました。

また、議会基本条例の前

文について審議し、基本条例制定の精神を大切にしながら各条文について今後、審議を続けていくことを確認しました。

2月14日 条文の審議。

第1条 目的、第2条 議会の使命、第3条 議会の活動原則、第4条 委員会の活動原則、第5条 議員の活動原則、第6条 市民の参加および市民との連携、第7条 議会報告会等、詳細にわたって審議をしました。

議会基本条例（案）

住民説明会のご案内

議会基本条例（議会のあり方を定める条例）を制定するため、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

日時 平成23年5月21日（土）
P.M 7：30～P.M 9：30
会場 竜王町公民館大ホール

どなたでも入場できます。
事前に条例（案）を各戸に配布しますので、ご持参下さい。

3月7日は第8条 議会

と町長等執行機関との関係、第9条 重要施策の審議等、第10条 討議による合意形成、第11条 議員研修の充実強化、第12条 議会事務局の体制整備、第13条 議会広報の充実、第14条 議員の政治倫理、第15条 議員定数、第16条 議員報酬、第17条 最高規範性、第18条 見直し手続きの部分について検討し、条文の表現や字句など詳細にわたって審議しました。

3月22日は前回の会議で

審議した変更部分についての条文の確認をし、条例前文、第1条から第18条にわたる、条文の解説について審議しました。

確認事項として、条文および解説が固まった時点で全国町村議会議長会事務局等の指導を受けることとし、5月に住民説明会を開催することを確認しました。

県有地（岡屋工業団地） の状況は

滋賀県が所有する岡屋地先（ドラゴンハット南側）の土地に、調整中の環境アセスメントなどに加えて新たな動きがありました。

2月に、県土地開発公社から事業の具体化を目指している「（仮称）竜王岡屋工業団地」について設計事務が発注されました。これによって「事業区域面積約70haの基本計画」と「開発可能面積約40haの基本設計」が6月末の完了予定で

進められます。

竜王町では、開発を進めるための市街化編入（工業地域）の手続きを進めています。町都市計画審議会の開催や都市計画変更案の縦覧、県での手続きを踏まえ、5月ごろには編入を見込んでいます。

今後も引き続き、県と町が連携して企業誘致などを含め事業を推進していくこ

とになります。

委員会では、この開発について、国道477号との関係で課題があり、現状のままでは交通に支障を来すことになるのではないかと質問をしました。道路拡幅や歩道の設置など町としての考えを固め、早い段階から県へ要請をしてほしいと意見を述べました。

本年7月ごろには、もっと具体的な土地利用を説明できるであらうとのことでした。

雪国まいたけへの野菜の提供については、町がJA担当者との話し合いを持ち、進めています。5月にも町、JA、雪国まいたけの三者で懇談を予定しています。

工場で使用している水は地下水ですが、排水は公共下水道を使用しています。

1前の歩道の照明については、山面区などからも雪国まいたけに要望が出されています。

工場からの出入りは工場側出口が坂になっていたので、停止線を引き安全を確保するよう委員会としても要望をしました。

雪国まいたけの動向について

2月8日に雪国まいたけ「滋賀パッケージセンター」の見学をしました。

見学の前に、事業の内容とこれからの展開について説明を受け質疑応答を行いました。

現在ほとんどの野菜は、茨城県の直営農場等で生産されています。

商品にならなかった残菜は全て本社に持ち帰り「きのこのこ」の育成に循環利用さ

れています。

町としては地元で野菜を供給できないか検討しています。

「今後の用地全体構想」

については、現在建設済みの建物を活用し事業を進めておられます。このパッケージセンターの本格稼働後に何らかの生産工場を建設する方針で、実績を見ながら進めていきたいとのことでした。



岡屋県有地の航空写真



雪国まいたけ滋賀パッケージセンター

みなさんの声を市政に届けます

一 般 質 問

9議員が17問

- ①民間経営のノウハウを活かした財政改革は？
- ②小学校からの外国語活動「教師の対応は万全か？」
- ③定年後から農業を
- ④防災情報システムの整備について
- ⑤内発型の施策について
- ⑥図書館・公民館の協働による運営について
- ⑦給食センターの衛生管理は？
- ⑧財政の建て直し策は？
- ⑨国保の患者負担軽減を

蔵口嘉寿男議員
山添 勝之議員
岡山 富男議員
大橋 弘議員
菱田 三男議員
山田 義明議員
貴多 正幸議員
小森 重剛議員
若井 敏子議員

答 町長に就任した時、町の財政は逼迫し、想像を遥かに超えたところまで硬直化が進んでいたことを知り得ました。
平成21年度予算編成から、進行中の大型事業について事業費の抑制と大型プロジェクトを見送ることを指示しました。

問 あと3年ぐらいで基金の積み立てが底をつく財政悪化をどう捉えておられるのか伺う。
町長が民間経営の視点で成果を上げられたことをお示していただきたい。



蔵口嘉寿男議員

竜王町の財政の将来見通し

今後の竜王町における
歳入歳出予算の見込み



◎約3億円から5億円の
財源が不足



これを補うためには基金の
取り崩しが必要となる

※取り崩し可能基金残高
約12億7,900万円
(H21年度末残高)
⇒あと2年から3年で底をつく

(財政説明会の資料より)

- 新年度において、基金から4億5,000万円の繰り入れをしますが、法人税の税収の回復も見込まれます。健全化の取り組み効果と併せて、公共施設の維持補修等財政需要の増に対応した内部留保の充実に向けて、精一杯行政経営に当たる覚悟です。
- 財政健全化の目処として次のことに取り組みます。
- ①人件費圧縮は避けられない道。
 - ②外郭団体の更なる経営合理化。
 - ③予算規模を適当な範囲を46億円程度とする。
 - ④剰余金が発生した時は、町債の繰り上げ償還と基金の充実を図る。
 - ⑤県下で実質公債費比率が最悪の数値を脱却。
 - ⑥県有地の一日も早い開発と企業誘致。
- 具体的目標を定め実行していきたいと考えています。

民間経営のノウハウを活かした財政改革は？

目標を定め実行します

一般質問



山添勝之議員

問

この4月より小学校からの外国語活動が義務づけられるが、担当する教師は万

事対応ができるのか。
あるアンケートではそれらの教師のうち70%が不安だ、自信がないと答えている。竜王町での状況はどうか。

外国語活動の方針と方向性、また契約ALT（外国語指導助手）の活動と懸念される中一ギャップ対策について伺う。

答

平成21年度には文科省から「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業」の委託を受け実践研究を進めてきました。

昨年度は県教委より「外国語活動スプレッド事業」

「小学校からの外国語活動 教師の対応は万全か？」 学級担任が中心に取り組みます

の指定を受け学級担任が一人で進める外国語活動をメインに授業公開をしてきました。

現在英語を得意とする教員が中心となっていますが、蓄積してきた教材や指導方法等の成果を他の教員にも拡大していく方針です。

AL

Tは授業だけでなく異文化の紹介や部活動等にも参加しています。今年度から2年間は「外国語教



外国語授業のようす

問

定年退職後から70歳までの方が農業に取り組んでいたために具体的な施策を考えているのか。

また、大規模農家の安定を図っていくことを中心として、法人化に向けた組織の充実を図るための具体策は。

答

定年後の帰農者、新規就農者については、年間を通した農作業が可能となることから、収益性が高い施設園芸への誘導を考えています。

最近の農業、特に施設栽培においては、従来のように土を使うのではなく、作業効率の向上と連作障害の回避が可能となる水耕栽培等が盛んに行われています。わが町でもJAの温室ハウスを借りて実証ほ場を設



岡山富男議員

定年後から農業を 施設園芸をすすめています

置し、帰農者、新規就農者など8人の方に、施設園芸に取り組んでいただいています。

省力化を図るため新技術を習得してもらっています。が、今後も女性や定年後の帰農者・新規就農者等の多様な担い手の育成を図るためにも新たな

仕組みづくりが必要と考えています。

集落営農が農業生産法人になった事例は町では2集落しかありません。

これは集落内の合意形成が整わないことや、目指す経営形態が見えてこないこ



新規就農者のハウス



大橋弘議員

防災情報システムの整備について 協議機関を設け検討します

問

竜王町の防災情報システムは有線放送のページング放送と屋外トランペット放送であるが、有線の加入率が59%と低い。災害時の緊急情報システムの整備について伺う。

答

東北地方太平洋沖地震によって発生した大津波は甚大な

被害をもたらしました。近年甚大な被害を伴う大規模地震やゲリラ豪雨など、自然災害の発生が懸念されています。

これらの災害による被害を最小限に食い止める「減災」といった考え方が重要で、日常からの備えが必要であります。

本町では台風や災害時の緊急情報伝達手段を有線放送に依存しています。

しかし、有線放送の加入率が60%を割っており、地域防災情報システムの整備が重要な課題となっています。

防災情報システムの整備については、確実に素早く情報が伝達でき、住民が享受できる情報に格差が生じることのないよう、現在、様々な面から検討すべく協議機関等を設け検討していくことにしています。



トランペットスピーカー

問

町内でやる気のある人が意欲を持って事業に取り組める、つまり内発型の活性化施策を早急に打たないと、ますます竜王町の産業や行政規模は縮小する一方である。具体的な打開策について、所見を伺いたい。

答

昭和48年当時、本町の市街化区域は山之上と鏡地先の約20haの工業専用区域のみで、あとはすべて市街化調整区域でした。

昭和50年から、集落周辺の家の軒下から県道周辺まで全町圃場整備により農地の基盤整備に取り組みました。

都市計画の見直しは、これまで6回行い、住居地域、近隣商業地域、工業地域、



菱田三男議員

内発型の施策について 個別に相談して下さい

工業専用地域として321.7haと計画の変更をしています。

市街化区域においては、開発等順に進めてきていますが、市街化調整区域（特に集落周辺および優良農地）では、都市計画法の制限があり、開発など許認可ができにくい状況です。

竜王町では、農業者以外は集落近くに住宅の分家ができない、店・事業をしたくてもできないために町外に住まわれる方や、事業地を求めて出て行かれる方もあります。

滋賀県では平



アグリパークから竜王をながめる

一般質問



山田義明議員

問

地方分権や権限委譲により行政の仕事が増加し、専門化しており、何もかも行政で抱え込めば動きの取れない状態になる。

図書館・公民館については広範囲の町民の方々が密接に関わっておられることを踏まえ、町民との協働による運営とし、協働運営者としてNPO法人を育てることでやがてはその運営を委ねて、身軽になつてはどうか。

答

図書館・公民館等の公の施設管理については行政の直営または指定管理という二つの方法が定められています。指定管理は民間参入により施設サービスを上向きにさせるのが目的ですが、人件費等を圧縮するにとどまり

図書館・公民館の協働による運営について 引き続き直営で運営します

様々な課題を生み出しています。

さらに、施設整備と運営を一体的に民間に委ねるPFIは、かえって行政コストが増すということから、公の施設に戻されるという町もあり

ます。

町としては重要なのは教育施設については、引き続き直営とさせていただきます。

なお、具体的な運営については、運営協議会等をも



町立図書館

問

給食センターの衛生管理について、従来から調理従事者の健康管理など徹底されていることは聞き及んでいるが、ウイルス感染を防止する対策と、万が一感染した場合、どのような対応を考えているのかについて伺う。

答

今回のノロウイルス感染の件で、東近江保健所の立ち入り指導調査を受けました。

保健所からは「今回、職員が感染した場所は、調理場内ではなく、便所や休憩室等のバックヤードで起きたと考えるのが妥当である」との結論でした。

そこで、調理場以外のトイレ、食堂、更衣室、事務所のドアノブやスイッチ部分等、手を介しての二次汚



貴多正幸議員

給食センターの衛生管理は？ 関係機関と連携して行います

染につながる箇所の消毒回数を1日2回に増やし、湯飲み等の共用の禁止等を取り決め改善しました。

また、トイレの洋式化や給排水設備等、施設面の改善も、計画しております。

さらに、従事者等の毎日の衛生管理

が感染が発生した場合は、その内容や状況にもよりますが、何よりも子どもの健康と安全を第一に考えた対応策を、関係機関と連携をとりながら行うこととしています。

点検についても、これまで調理前に一度だけ実施しているところを、調理前と調理中、調理後の一日3回の点検に改め、職員の感染の早期発見と予防に努めております。



給食センターの調理場



小森重剛議員

問

竜王町の財政は今後毎年3億円から5億円の財源不足が発生し、これを補うために基金の取り崩しが必要になる。平成21年度末で取り崩し可能な基金残高が約12億7千9百万円であり、あと2～3年で底をつくと予測されている。

予算の根幹をなす町税が減少し、歳出で義務的経費が増加する中、基金の取り崩しに歯止めをかけ、積み立てに転じさせる方策や、公債費を減小させる方策について今後の計画を伺う。

また、「竜王町の規模にあった」とか「身の丈にあった」という言葉を使われますが、何が竜王町の規模であり、身の丈であるのかを伺う。

答

全ての事業について精査を行い、不要不急の事業は凍結し、繰り延べ措置を行い、見込み以上の税収があれば、財政調整基金等の積立金財源あるいは公債費の圧縮に向けた繰上償還の財源に充てます。

また、歳入については企業誘致や人口増加策等を積極的に行い、税収の確保に努めます。

次に、町の予算規模については過去の歳入の決算推移および、今後の制度改正等を考慮し、単年度の歳入見込額を推計すると約46億円、歳出見込は、49億3千万円と推計しています。そこで、歳入の確保が可能な推計額46億円前後が竜王町の予算規模の範囲として適当であると考えています。

財政の建て直し策は？
税収の確保に努めます！



財政住民説明会

問

昨年9月、国保の被保険者が病院などで支払う医療費は、減免基準を緩和するように国が通知している。竜王でもこれを制度化されたいが、どうか。

会社都合で失業した人には、失業した年の収入を30%減額して保険料を算定するという国保税の減免制度ができたが、これについて窓口で紹介しているか、相談はあったか。

答

「国保一部負担金の徴収猶予及び免除に関する要綱」制定にむけては現在事務をすすめていまして、平成23年度の早い時期に実施したいと考えています。

時間を要しているのは医師会や国保連合会との調整



若井敏子議員

国保の患者負担軽減を
今年度の早い時期に制定します

が必要なためです。

会社都合による失業者に対する国保税の減免については町広報やホームページでお知らせし、国保の資格取得の段階で紹介しています。職業安定所でも説明されています。これまでに40件程度の相談があり31件適用しました。



診療所で診察を受ける町民

こんな質問もしました

岡山富男議員

問 町内に巡回バスを走らせることについてどのように考えているのか。

答 公共交通対策検討業務の中で、様々な形態を工夫し、移動手段を必要とされる方への対応策を考えていきます。

問 第五次総合計画基本構想の人口増計画について、その対象世代についてどう考えているのか。

答 地域力を高めるためにどのような取り組みをしようと考えているのか伺う。

答 特に若い世代の

増加をめざしています。目標人口は1万4千人です。この構想は、町民と行政が共有する、協働のまちづくりに向けた計画となるよう、自治会での地域力の向上を図ることも重要な課題であると認識しています。

問

町の職員が専門性を高めるために、能力開発できるような研修を受けてもらい、その研修結果を評価するような制度を本格的に導入する考えはあるのか。

問

竜王町の学校給食はたいへん喜ばれている。この取り組みはもっと外に向かってPRした方がよいと思うが、今後どのような取り組みをされるのか伺う。

答

それぞれの業務において資格の取得を要するもの、専門知識を要するもの等については、資格取得のための研修・専門研修を職員に受講させ、能力開発に取り組んでいます。



路線バスの停留所（庁舎前）

答

学校給食の取り組みについては、地場産食材を利用したメニューなど、竜王町学校給食の大きな特徴として全面的に打ち出し、PRしていきたいと考えています。

若井敏子議員

問

子どもや高齢者のための歩道の整備、ジョギングやウォーキングコースの整備、アウトトレットに勤務する人たちの駐車場までの街路灯整備を求める。安心安全の道路整備計画を伺う。

答

歩道の整備などには経費が必要で、国県の補助がないと難しいと考えます。妹背の里を起点にしたサイクリングコースがあります。アウトトレットから町道小口八重谷線の駐車場までの街路灯は3基増設します。

問

共同徴収チームの成果をどう。納税者に寄り添った徴収を求める。

答

県職員、市町派遣職員各2名で共同徴収チームを組織し、今年2月までに186者に對して約4、200万円の滞納税額のうち、約1、000万円を収納しました。完納は50者、差し押さえは84件です。今後は習得した徴収技術を活かして納税意識の高揚につなげていきたいと考えています。



浄化槽の点検作業

問

日野町でも近江八幡市でも好評の住宅リフォーム助成制度、国の交付金でできないのか。

答

社会資本整備総合交付金の活用が考えられますが、竜王には公営住宅がないため、対象とはなりません。住宅リフォームはプレミアム商品券の対象事業として実施しています。

問

全国で合併浄化槽の点検、検査が不十分だと指摘がある。竜王町ではどうか。点検費用を町で補助できないか。

答

町内で浄化槽を設置されているのは319基です。未受験者に対して今年法定点検の必要性や受検依頼をしたところ今年2月末で、47・8%の受検率となりました。町として補助の考えはありません。

今年3月に発生した東北地方太平洋沖地震により、甚大な被害が発生し、多くの尊い命と財産が奪われた。その犠牲となられた方々と御遺族の皆様に対し、心から哀悼の意を表す。

今回の地震は、人々の生活を壊滅的な状況に追いやり、また福島原発においては、緊急事態宣言が発せられた。

すでに国内外からの支援も受けながら懸命の捜索・救援・救助活動が行われているが国におかれては、被災者の救援・救助など、人命・健康を最優先にした活動に全力を尽くし、国民に対する正確な情報提供はもと

東北地方太平洋沖地震における被災地への救援活動 および支援体制の整備等を求める意見書

より、一日も早いライフラインの復旧など、被災者の生活支援に取り組み、被災地の早期復興に向け、万全を期されること、また原子力発電所の事故については、専門家・技術者を総結集して危機打開されることを強く求める。

さらに、復旧や支援に取り組む被災地をはじめとする各地方自治体に対して、財政支援措置を講じられることを強く求めるとともに、今後の防災対策についても万全を期されることを強く要望する。

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
他

新地町の概要

人口 8,387人
世帯数 2,654世帯
被害状況(3/31現在)
死者 88人
行方不明者 約30人
避難者 630人
住宅約500棟全壊



竜王町から
福島県新地町へ第一次の
救援物資を届けました

東日本大震災の被災者の皆さんに
心からお見舞い申し上げます



川に流された車両

対向車はガソリンスタンドの順を待つ行列です



第二次の救援物資を届けるための積み込み作業



住民から寄せられた第二次の救援物資の仕分け作業



編集後記

3月11日の巨大地震は未曾有の被害となりました。

今政治の力が試されています。私たちも議員として試されているのです。

住民に寄り添って、声を聞き支援の道を探る。議員にとって待ったなしの仕事がそこにあります。対岸の火事にはなりません。

私たちも義援金を集めて、社会福祉協議会に届けました。

議会広報特別委員会

委員長 若井 敏子
副委員長 山田 義明
蔵口嘉寿男
村田 通男
菱田 三男
寺島 健一